

阿見第二小学校 令和6年度第2回学校運営協議会 議事録

■日 時 令和6年11月7日(木) 18:30

■場 所 西郷公会堂

■出席委員 区長：4名

(16名) 民生委員児童委員代表：2名

ボランティア代表：4名

学識経験者：1名 地域産業：1名

P T A：3名

学校代表：校長 [委員20名中16名出席会議成立]

欠席委員：4名

事務局：教頭、教務主任

阿見町教育委員会：生涯学習課：3名

【はじめの言葉】 教頭

【会長あいさつ】

本日は別段いい話があります。本日も学校運営のために意見ををお願いします。

【学校長あいさつ】

遅い時間、そしてお疲れの中での参加、そして日頃より学校運営を支え、携わってくださりありがとうございます。町内の学校でインフルエンザが蔓延しています。幸い本校ではまだ大丈夫ですが、今後も手洗い、換気の徹底を心がけ、予防に努めたいと思います。

二期制のため、10月15日から二学期が始まったところです。この6か月間、コミュニティ・スクール通信で配信してきた通り、委員の皆様をはじめ、地域や保護者の皆様には、学校の教育活動のあらゆる面でサポートしていただいています。このあと、前期の活動報告がありますが、毎日の登下校の見守りやグラウンドの草刈り・花壇の草取り、ハナミズキの会の方の読み聞かせ、そして今年度は県立医療大と連携した研修など、地域と学校が一体となって地域の宝である子供たちを育てていけることをうれしく思っている。また、先日の運動会では、前日の会場準備に地域の方、サポーターさんやPTA本部の方々のご協力、あっという間に会場を準備することができました。当日も、スクリレや回覧板でお知らせしたところ、たくさんの方が見に来てくださり、子供たちの「本気」で頑張っている姿を見ていただけたことをとても嬉しく思っていますし、子供たちもとても喜んでいました。

二小の子供たち、今とても頑張っています。成長過程ですので、時には問題が起きるときもありますが、そのときは全職員がチームとなって、その解決に向けて全力で対応しています。今後も学校運営を共に行っていただく委員の方には、二小のよさをさらに伸ばしていったり、課題を解決したりするための方策と一緒に考えていただき、ご尽力をいただけますと幸いです。本日はよろしくお願いいたします。

(協議事項)

資料 1 前期活動状況報告

副会長資料説明

副会長：5月9日 第一回学校運営協議会 上郷公会堂にて行った。

5月25日 PTA 親子奉仕作業 地域のボランティアの方と共同で実施

6月8日 第一回トイレ、空調問題検討会議 西郷公会堂 7名参加

8月5日 県立医療大学と連携 心肺蘇生法・AED 研修を実施

10月12日 PTA 親子奉仕作業 地域のボランティアの方と共同で実施

10月25日 運動会会場・テント準備

地域のボランティア 12名 PTA 本部役員 6名参加。

10月26日 運動会開催 地域の方約 70名参観した。

その他 毎日の登下校の見守り 随時グラウンドの草取り 会長を中心に行っています。細かいところはお読みください。

会長：コミュニティ・スクールも 4年目になった。活動がパターン化できた。会議は、年3回。特徴的なものは、地域の方が、少しずつではあるが「学校のために子供たちのため」にいろいろ行ってくれている。これだけやっている学校は他にはない。

質問やご意見は最後に総括でも聞くこととします。活動がパターン化したため、今後はこの活動をベースに少しずつ発展させていく。

本校のボランティアは、「無理をしない。できることを。できるときに。」がモットーである。それは、今後も継続していく。

資料 2 (前期学校評価アンケート結果について)

学校長

学校長：10月に実施した 保護者結果 児童の結果を資料に載せている。

第一回の会議で、グラウンドデザインを基に説明し承認していただいた。そのときに示した内容がどのくらい達成できているかを見る一つの指標としてアンケート結果を分析している。グラフ青+赤が質問に対して肯定的な意見となる。

○保護者アンケートの肯定的な評価として 90%を基準としている。質問項目 3番・5番・6番・8番・15番・16番が 90%を超えている。90%は超えていないが、1番 89.2%、2番 86.1%と、学校として頑張っていることがおおむね保護者に理解されていると感じている。特に、8番「お子さんが楽しく学校生活を送っている」92.1% 職員一同うれしく思っている。しかし4番や7番は、「わからない」という回答が多くなってしまった。学校からの発信不足だと感じている。今後、さらに学校の取り組みを積極的に学校から発信する。

その他、自由記述は全て載せている。貴重なご意見を頂いたため、すぐに取り組めること、来年度に向けて改善すべきことなど、準備を始めたところである。

○児童のアンケート結果も肯定的な回答が 90%を超えたのは、6番・12番・15

番・20番・22番・23番・24番・25番である。特に今年度力を入れている項目として、組織目標にも掲げた「授業中わかった・できたを実感できる授業づくり」についての質問に89.1%、大きなテーマとしている「色々なことに本気でチャレンジする」という質問に対して89.9%、二小っ子通信のタイトル「笑顔・本気・思いやり」にも入れている「相手の気持ちを考えて行動できた」88.2%、今年度の目指す学校像の一つ、「学級には自分の居場所がある」96.6%と、今年度力を入れてきたことは、概ね子供たちが意識したり実感できたりして生活できていると感じている。しかし、組織目標にも掲げた「自己有用感」について、「自分はみんなのために役立っていると感じている」が73.9%の評価。「自己有用感」は、頑張っていることが他から認められているとか称賛されて高まっていくものであるため、これからも、目立たなくても頑張っている子供たちを認め、称賛していくことを大切にしていきたい。

○後期も同じ内容でアンケートをとり、その変容を検証していく。第三回学校運営協議会に後期分はお話する。

会長：3種類のアンケート（児童・保護者・職員）の確認

委員：アンケートから先生方の目が児童に行き届いていることがよくわかる。校長先生から、4番7番が伝わっていない、とあったが、いじめが目立っていなかったり、先生方の不祥事が気になったりしないから、気に留めていない、だから「わからない」という回答になり、いいことでないかと思う。ネガティブな要素だけではないと思う。児童アンケート結果で低いところが気になるとあったが、「自己有用感」となると、自分にとって一つ高いレベルでの評価となるため、「自己肯定感」として「自分のいいところがある。」にするともっと評価は上がるのではないか。アンケートの表現を変えることで、もう少し変化が見えるのかもしれない。

委員：自由記述で、「体操服」の話題が出ているが、このことについては何か進んでいるのか。

教頭：実際可能かどうか、業者と問い合わせ中。在庫がある限りは難しい部分もある。二小と阿見小では取り扱っている業者が違うため、まずはそこの調整が必要。

委員：「阿見中と阿見小の体操服が一緒になるの？二小はどうなの？」と、保護者から聞かれた。どこかのタイミングで、二小の現状を伝えていった方がいいと思う。保護者に経緯とか説明をいつ頃するなど検討した方がよい。業者が違うとの件も含めて説明をしていくべき。

委員：23.24.25番 仲のよい児童がいる。あてはまらない子が数%いる。こちらに目を向けることが大事。不登校の予備軍。いじめの予備軍と位置づけ、関心をこちらに向けて動いていくことが大事ではないか。

学校長：もちろんです。一人でも「学校が楽しくない」と回答している児童がいれば、その

子への対応を担当を中心に連携してチームで行っているところ。

本来であれば肯定的な評価が 100%になればいいのですが…。

係長：参考ではないが、保護者アンケートの 7 番「不祥事防止の取組」をどうやって知らせたらいいのか。わざわざいうのもどうか…、自分だったらどうするか、と考えるとこれを宣伝するのは難しい。

学校長：教職員の不祥事が全国的に多い。県から各学校で教職員の不祥事防止対策を徹底するよう指導があった。本校も不祥事防止に向けて学校でいろいろと取り組んでいる。その取組を本校ホームページにも載せているので、どの程度保護者の方に伝わっているかを確認するため、今年初めてアンケートの項目に載せた。

まだまだ伝わっていないことが明らかになったが、本校には「二小っ子通信」という武器がある。先日も「教職員による不審者対応研修」を行い、その様子を発信している。これからは「不祥事防止」に向けて教職員が取り組んでいることも発信していく。とにかく、本校から不祥事を出さないよう、力を入れてやっていく。

委員：「ハナミズキの会」月一回の読み聞かせを行っている。

スクリレで「二小っ子の日常編」通信を毎日出すのは大変・・・では？

教務主任：「二小っ子の日常編」通信は、子供たちの様子や活動を写真に撮っていると二小っ子のよさがいっぱいになってしまい、これを少しでもみなさんにお伝えしたくなり、結果毎日のように出している。

学校長：数年前に「学校は何をしているのかよくわからない」という意見が多かった。「子供たちは学校でこんなことを頑張っている。職員もこんな研修をしている。」ということもわかってもらいたい。それをどのように発信していくかを考えていたところ、教務主任が具現化してくれたものが「二小っ子の日常編」。校長として、これだけ頑張ってくれていてとても感謝している。

委員：児童に朝読みとして 15 分間読み聞かせをしているが、二小の子たち態度はとてもいい。二小っ子はとても素直で、運動会のソーラン節もとても良かったし、読み聞かせしても全力で聞いてくれるので絵本読み冥利に尽きるといってもいい。

教務主任：二小っ子の日常編は、サポーターさんへの感謝の気持ちも形にして伝えさせて頂いている。児童の様子、教職員の姿も一緒にこれからも配信していきたい。

会長：CS を始めた 4 年前に、「小学校は敷居が高すぎる。」という感じがあった。ふらっと行ったら「何しに来たんだ。みたいな雰囲気」でちょっと行っていいのかな？と感じられた。「敷居を下げしてほしい。サポーターもお手伝いします。」と言っても、情報が発信されていなかったから学校の様子も全く分からなかった。孫でもいなければ…。配信されることで、このことが改善されてきている。

朝早く行ったり、土日行ったりして学校の環境整備活動している。児童から「ありがとう」と声をかけられるとサポーターさんが「うれしい」と言っている。

委員：アンケートの中で、学校からの宿題の丸付けが大変。とあるが今はマル付けは保護者がしているのか。解答は家庭に届いているのか？

学校長：今までは、学校で先生が全てマルを付けていた。そのマル付けだけで膨大な時間がかかり、朝の貴重な子供との触れ合う時間がなくなったり、会話が減ってしまったりという状況で、「これでは本末転倒」とのことから、今は家庭で宿題の丸付けをお願いしている学校が増えてきている。解答がないと保護者の方も大変かと思うが、担任と話をする、答えを配るとその答えを見ながら宿題をやってしまうことが心配、などの意見もある。今は学年の実態に応じて対応しているのが現状である。今後、保護者の方の負担を考慮し、やり方を検討していく。

委員：いじめ問題が児童アンケートには載っていないが、子供たちの「いじめの早期発見」について、学校ではどのようにしているのか？

学校長：月一回の生活（いじめ）アンケートを実施し、早期に発見に努めている。心配な記述があれば、個別で担任がすぐに面談をしている。その結果をすべてまとめたものが管理職にあがってくるので、それで確認し、対応している。

委員：それらの問題をしっかりと吸い上げてやっていることがわかってよかった。

資料3（各部会からの報告） 会長・各部長 資料3に基づき会長が説明

会長：結果的には、「トイレ・空調設備問題」はうまくいった。はじめは、トイレ・空調工事は令和13年度から行うと回答をもらった。8年後では…ということで、6月に検討委員会を行った。まず、取り組みとして、①保護者は分かっているのか？何を考えているのか？PTAアンケートを取ってみよう、ということ。

取組②「町長と語る会」で各地域の要望事項を取りまとめて町にもって行くのはどうか、というもの等。

取組③ 資料項番12。阿見町議会「民生教育常任委員会」…にて、二小と君原のトイレ問題は載っている。町も対応しなくてはならない。

①に関して、PTAアンケートを行うこととなった。その説明を委員、お願いします。

委員：会長とある委員さんから「保護者はどのように考えているのか」と、話が出た。保護者の考えや状況を吸い上げようとなりアンケートをとることになった。会長や学校長からアドバイスを頂きながらPTAアンケートを行った。アンケートの目的は、以下の3つ。

① 教育環境の二小の課題の共有

② 家庭で二小の環境を「自分の子供がどのように感じているのか」会話してもらいたい。共通課題として。

③ 継続的な教育環境の改善の問題提起

7月にアンケートを行い、反応は87%の回答率。一児童一回115件得られてかなり高い返答率であった。12の問いをつくり、トイレ、エアコンに関する問いを分かりやすく設定した。保護者理解の問いも入れて資料の通りの問いを作った。どの問いも、「二小の環境は厳しい。」とあり、再認識した。コミュニティ・スクールの会議で、検討されていたものが保護者まで伝わっていない現状もあった。児童と保護者間で検討している内容であり、自由記述もたくさん頂いた。二小の環境問題で検討して動いて頂いていると思うが、保護者のリアルな意見として受け止めてほしい。

会長：PTAと育成会は任意組織。コミュニティ・スクールは公的な組織。年齢層が違う組織であるが、子供が一番上にいることはどの組織も一緒。

町長が二小の環境を見に直接来た。その後、町が動き始めた。項番14「町長と語る会」については、あとで委員に説明をお願いしたい。

地域予算についても含まれている。90万円を二小地区で何かに使うことができるかを考える。「トイレについてその予算でやってよ。」と、地区から意見が出たが地域予算では、トイレ改修はできなかった。そのことについて、委員、説明をお願いします。

委員：町長と語る会；5月9日第一回学校運営協議会（上郷公会堂）で、トイレのことが話し合われた。それをもとに、6月8日に検討委員会で話し合いを行った。「町長と語る会」で質問することなどを検討した。

アンケートを地域の住民に行った。地区からの要望をしたり保護者のアンケートも見せたりして、町に要望を出した。「洋式が少ない。格差がある。」

それを見て、回答を頂いた。町長公約「子どもへの投資は明日への阿見町しよう・・・育てることが大人の責任。子どもの環境は必要不可欠・・・」にある。引き合いとして出しながら行った。

今後の、町の見通しなど確認した。町としての計画など。阿見町議会で進んでいるという回答もあった。その後、動きがありそうということで、すぐには行わず、来年度開催で再調整することとした。

会長：トイレ問題については、学校長からいい報告があります。

学校長：このことについて学校教育課から資料をいただいた。内容は以下の通り。

トイレの一部改修は年度内に実施。

11月下旬～12月初旬に入札、3月末に工期の予定。

今回は女子トイレの改修のみ。今現在、各階洋式便器は1つで和式が4つ⇒和式4つのうち2つを洋式に変える。また、女子職員トイレを1つ洋式にする。計7つが洋式となる。

今年度は一部改修工事として行うので便器とその個室の枠組みのみの改修。そ

して、学校教育課の資料によると、トイレ改修工事は、ここで終わらずに、他校と遜色のないトイレにするための工事を令和 7 年度設計業務、令和 8 年度に行う。その際、特別教室等へのエアコン設置も計画しているとのこと。

5 年も改修工事が早まったことは、何年間も要望してきたことが実現し、涙が出るくらいうれしいし、何より子供たちにとって本当によかったと感じている。

会長：学校長の話「トイレとエアコンについて」の確認（繰り返し）

トイレ掃除のために P T A 会費で長靴を買うなど苦勞してきている。

トイレ改修工事決定等は C S 通信で、地域に発信していきます。

委員：本当にありがとうございます。

会長：町長以下、町のご理解に感謝したい。

【その他】

予算の執行状況

教頭：コミュニティ・スクール予算 80,000 円について。燃料代・消耗品・お茶代となっている。燃料代は、混合油一回分残っている。消耗品 9,000 円は第 3 回学校運営協議会までには 0 円になる。順調に使っている。次年度は、「25,000 円を 28,000 円として 3000 円の増」は、お茶代は余っているから燃料代に回すなど考えている。ハナミズキの会の本の購入。印刷代など別々に予算がある。

【今後の学校運営協議会としての活動について】 会長

会長：今後の学校運営協議会としての活動について何か意見はないか。

委員：学校運営協議会 3 回のうち 1 回は、二小の子供たちの現状を見ることが必要ではないか。日中の生活の様子を参観するなど。日中に、集まることは難しいかと思うがいかがでしょうか。

会長：以前 P T A 授業参観に合わせて会議を行った時があったが、学校・子供への負担等があり、参観日会議はなくなった経緯がある。今後検討していく。

委員：スクリレでは、学校運営協議会と見守り隊の両方で登録しているため、たくさんの文書が届き、大切なものを見逃してしまっている。紙の文書だと見逃しが無い。

会長：伝達の方法を検討していく。紙媒体の文書も時として大切である。相談していく。井関さん、一言ご意見をお願いします。

学校長：井関さんには、本日の 1 年生の木の实拾いでも大変お世話になっています。

委員：今日の会議に参加したことで、学校の困り感を把握できた。1 年生は自然に触れ合う木の实拾い。来週は 2 年生が「まちたんけん」でどんな仕事をしているのかを見学にくる。これからも、地域とのつながりを大切にしたい。トイレもいい方向に進んで皆さんのお力が身を結んでよかった。

会長：最後に今日参加していただいた生涯学習課長、一言お願いします。

課長：コミュニティ・スクールは、生涯学習課の事業として、より良い形で課題解決しながら地域の方と一緒に前に進めればいいかなと思っている。地域で子供たちのサポートができたらと思っている。今後ともよろしくお願いします。

会長：最後に何かありませんか。

委員：ハナミズキの会から２点。児童数で本の予算が決められている。国語の教科書にそったおすすめの本を用意したいが現状予算がない。本は、公民館から借りている。絵本は、一回読むと内容を知ってしまうため終わってしまう。そのため今は、図鑑を検討している。数が少ないため、図書館の廃棄本を二小に渡していただいたりしている。20冊くらい。

もう１点、12月に、久しぶりの「ブラックシアター」を学校で行う。1～3時間目に行うので委員の皆さんはよければ参観をしてください。

演題は「ゆうすげ村」です。

課長：本の予算については伝えます。

教頭：「ブラックシアター」について再度お知らせします。12月10日（火）①8時30分 ②9時20分 ③10時25分 開始で行いますので、ぜひ学校にお越しください。

委員：PTAに基金について、図書についても検討したい。協議する。

委員：以前ご意見があったが、二小の子供たちは本はとっても読んでいる。

会長：君原小学校の小規模特認校は存続が決まったようです。町の再編計画では、二小は阿見小への統合になっていますが、地域の要望により存続しています。

約束の時間が過ぎました。これで終わります有難うございました。

20:02 【おわりの言葉】 教頭